新田ゼラチン株式会社

当社の事業戦略

2022年6月8日

証券コード：4977

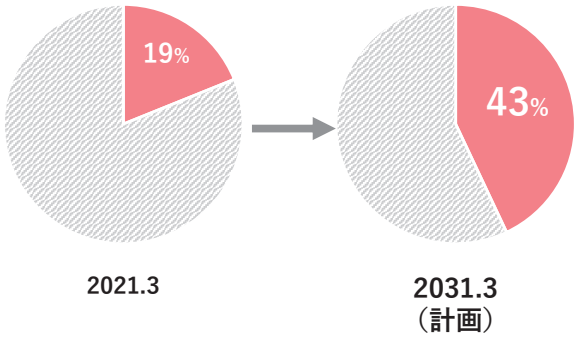
新田ゼラチンの将来像

新田ゼラチン Connect and Create

新田ゼラチンは、10年後のビジョンを制定し、
高収益企業に生まれ変わることを目指します。

ゼラチンの汎用品から付加価値の高いコラーゲンペプチドにシフト

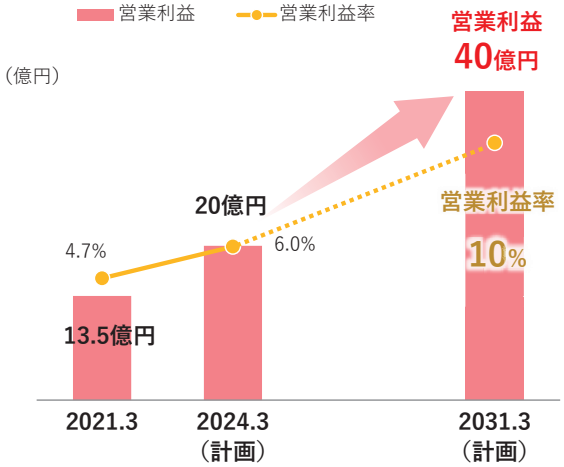
コラーゲンペプチドの売上高比率



注：2021.3は接着剤事業除く計数

営業利益は2021年3月期の約3倍の40億円

営業利益・営業利益率



© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

目次

1 会社概要 P. 3

2 中期経営計画・長期ビジョン P. 10

3 長期ビジョンを実現する強み P. 18

4 成長戦略 P. 25

5 Appendix P .40

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

会社概要

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

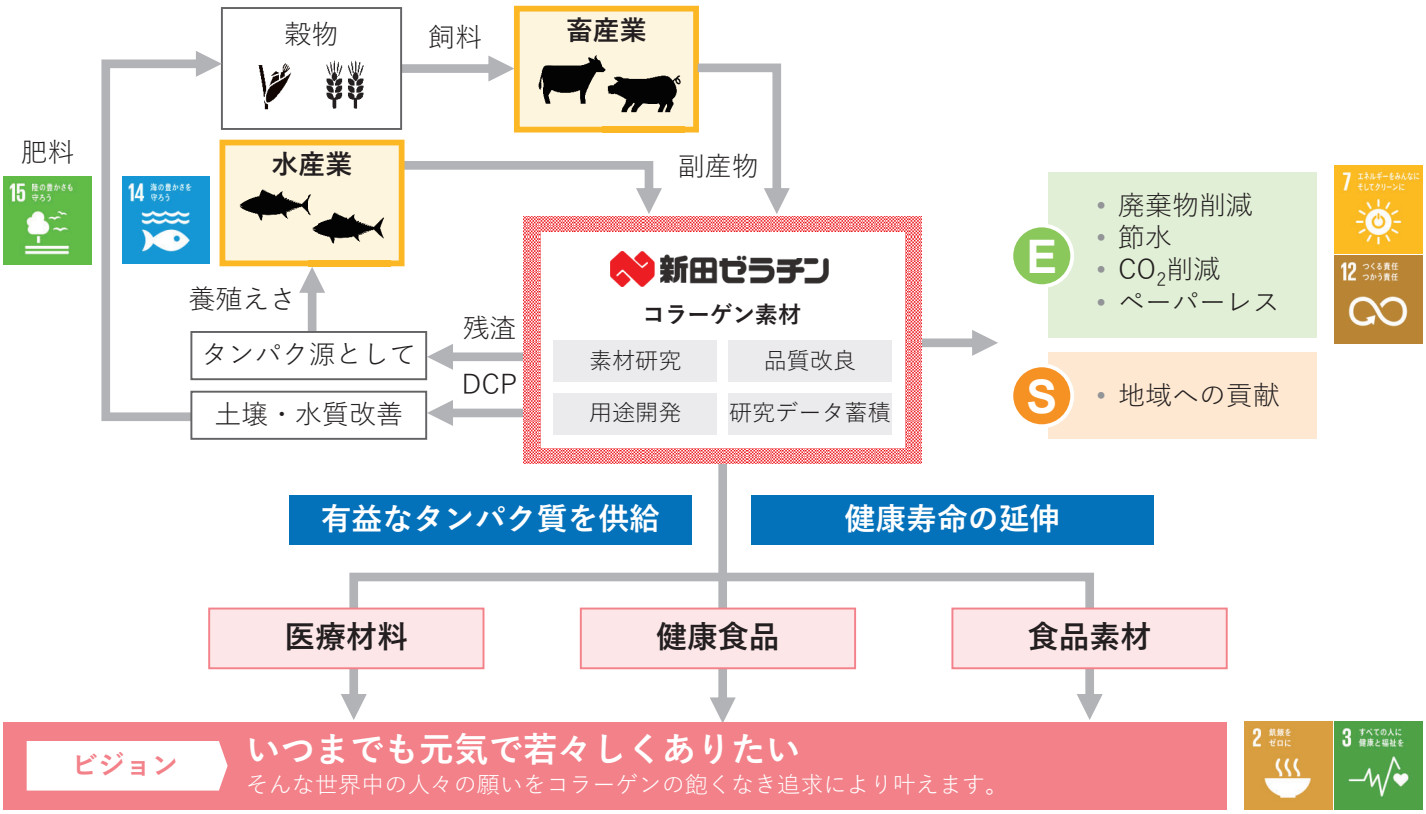
会社概要（2022年3月末現在）

会社名	新田ゼラチン株式会社（Nitta Gelatin Inc.）
代表者	代表取締役社長 尾形 浩一（おがた こういち）
本店	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創業	1918年（大正7年）1月
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード 4977）
資本金	3,144百万円
連結売上高	317億円（2022年3月期）
連結従業員数	1,009名（2022年3月末現在）

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

当社のビジネスモデル

畜産、水産業の副産物をコラーゲン素材として活用する循環型のビジネスモデルを構築



© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

事業内容

新田ゼラチン Connect and Create

フードソリューション

食用ゼラチン（ゼリー）

グミ、ソフトキャンディー用ゼラチン

コンビニ総菜用ゼラチン

デザート用食材

業務用加工度アップ製品

ヘルスサポート

カプセル用ゼラチン

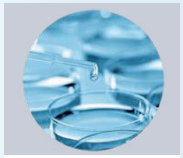
美容サプリメント用コラーゲンペプチド

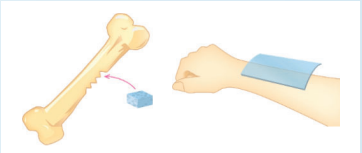
健康サプリメント用コラーゲンペプチド

スポーツニュートリション

創傷治癒用コラーゲンペプチド

バイオメディカル


細胞培養用コラーゲン・ゼラチン


人工骨・人工皮膚（医療用コラーゲン）

再生医療用コラーゲン・ゼラチン

細胞輸送用ゼラチン

主な顧客

- 食品メーカー
- 外食、ホテル
- 健康食品メーカー
- 医薬品メーカー・医療機関
- 一般消費者

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

セグメントごとの主要製品

新田ゼラチン Connect and Create

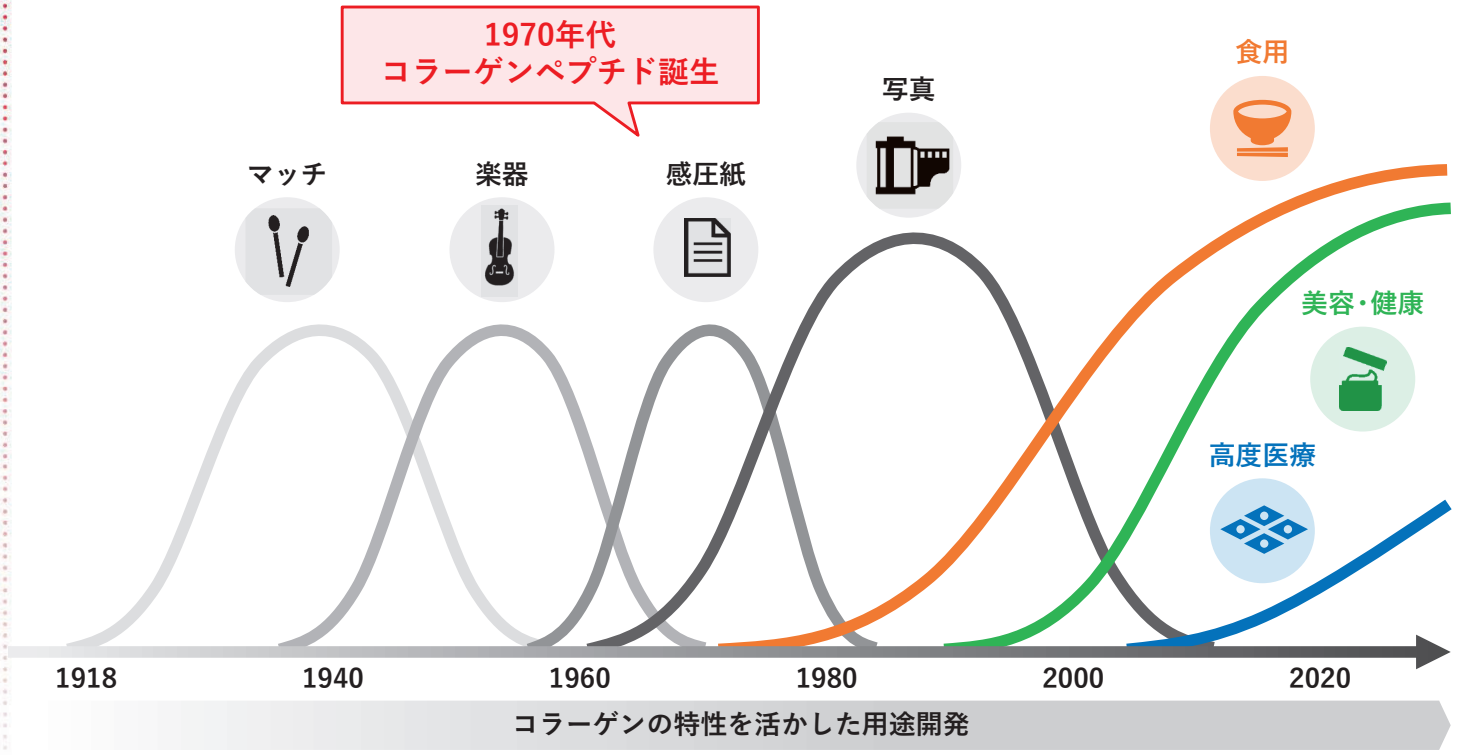
低 ← 吸収性 → 高

	コラーゲン	ゼラチン	コラーゲンペプチド	食品素材
	3本のタンパク質のヒモがらせん状に重なった形状 優れた保湿性・保温性を持つ	**コラーゲンを形成するヒモが熱などでほどけた形状** 温めると溶け、冷やすと固まる性質を持つ	**ゼラチンを形成するヒモを細かく切った状態** 体の調子を整える生体機能を持つ	食品用製剤（食用ゲル化剤や品質安定剤など）を顧客用にブレンドして提供 食品の保形安定性 食感の改良
フードソリューション		● 菓子類（グミ・キャンディー・マシュマロ） ● コンビニ総菜（麺類のスープゼラチン） ● ヨーグルト	● プロテインなどのタンパク質補給製品	● デザート用食材 ● 業務用市場向け加工度アップ製品 ※従来の粉末製品ではなく、調理現場でそのまま使用可能な製品のこと。食べるコラーゲン、ふわあわクイック等
ヘルスサポート	● 化粧品	● 医薬品＆サプリメント向けカプセル用ゼラチン	● 美肌効果に優れたサプリメント ● 創傷治癒・栄養向け製品 ● スポーツ・ロコモ向け製品（関節・筋肉機能回復）	
バイオメディカル	● 細胞培養用コラーゲン ● 人工骨・皮膚 ● 再生医療用コラーゲン	● 細胞培養用ゼラチン ● 細胞輸送用ゼラチン ● 再生医療用ゼラチン		

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

コラーゲン素材の用途開発の変遷

素材の持つ特性を活かして色々な用途で貢献してきた。
1970年代のコラーゲンペプチドの誕生によって、新たな用途が拡大している

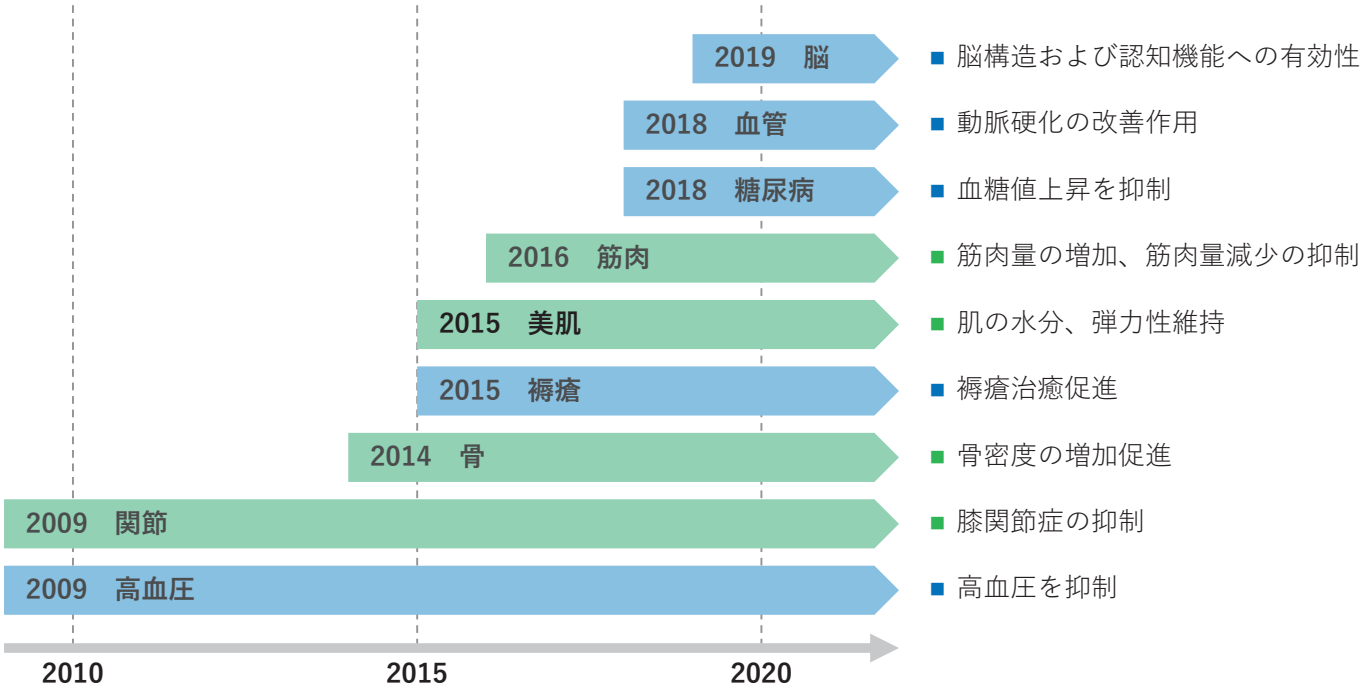


© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

コラーゲンペプチドの機能性研究が加速

コラーゲンペプチドを摂取することで人体に有益な作用がもたらされることが
様々な分野で明らかになっている

■ 近年明らかになったコラーゲンペプチドの効果



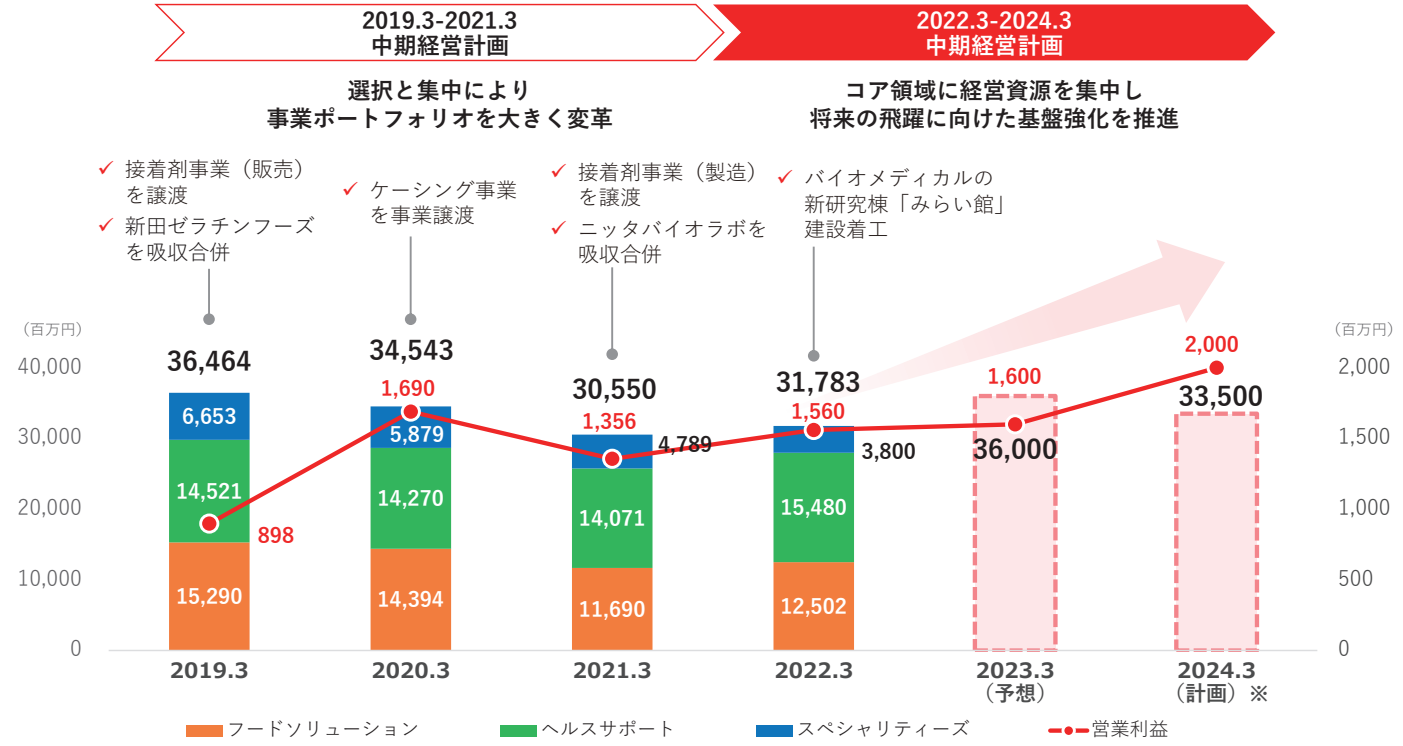
© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

中期経営計画・長期ビジョン

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

当社の現状

前中期経営計画で「フードソリューション」「ヘルスサポート」「バイオメディカル」に経営資源を集中し、2022年3月期から攻めの経営に転換



※ 2024年３月期計画は、2021年５月13日公表から変更しておりません。

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

中期経営計画における注力市場

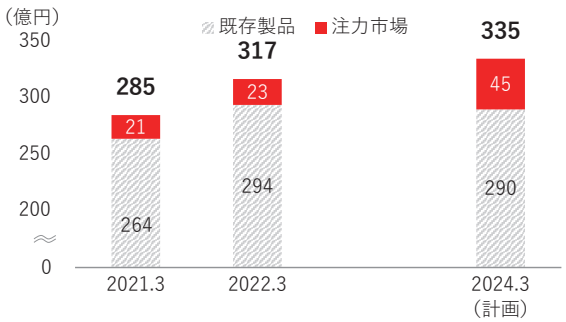
5つの注力市場を特定し、経営資源を重点配分することで、
高付加価値製品の販売拡大を図る

■ 5つの注力市場

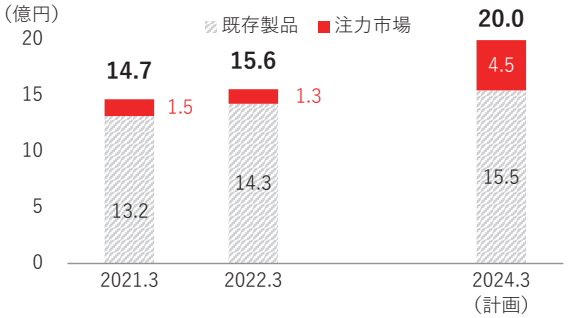
	FS	HS	BM
1. 業務用市場 人手不足に貢献する加工度の高い製品で業務用製品のシェアを拡大	●		
2. 新しい食ニーズ アスリートや若年層へのタンパク質補給製品、植物性の食品素材などで新たなニーズを取り込む	●		
3. 海外でのコラーゲンペプチド市場 北米およびアジアを重点市場として美容用コラーゲンペプチドを拡販		●	
4. 直販事業 リブランディングによる新しい顧客層獲得、スポーツニュートリション市場の開拓		●	
5. バイオメディカル事業 生産能力拡大等による医療用コラーゲン・ゼラチンの競争力強化と新たな用途開発			●

FS：フードソリューション　HS：ヘルスサポート　BM：バイオメディカル

売上高



営業利益



注：2021.3は接着剤事業除く計数

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

市場環境

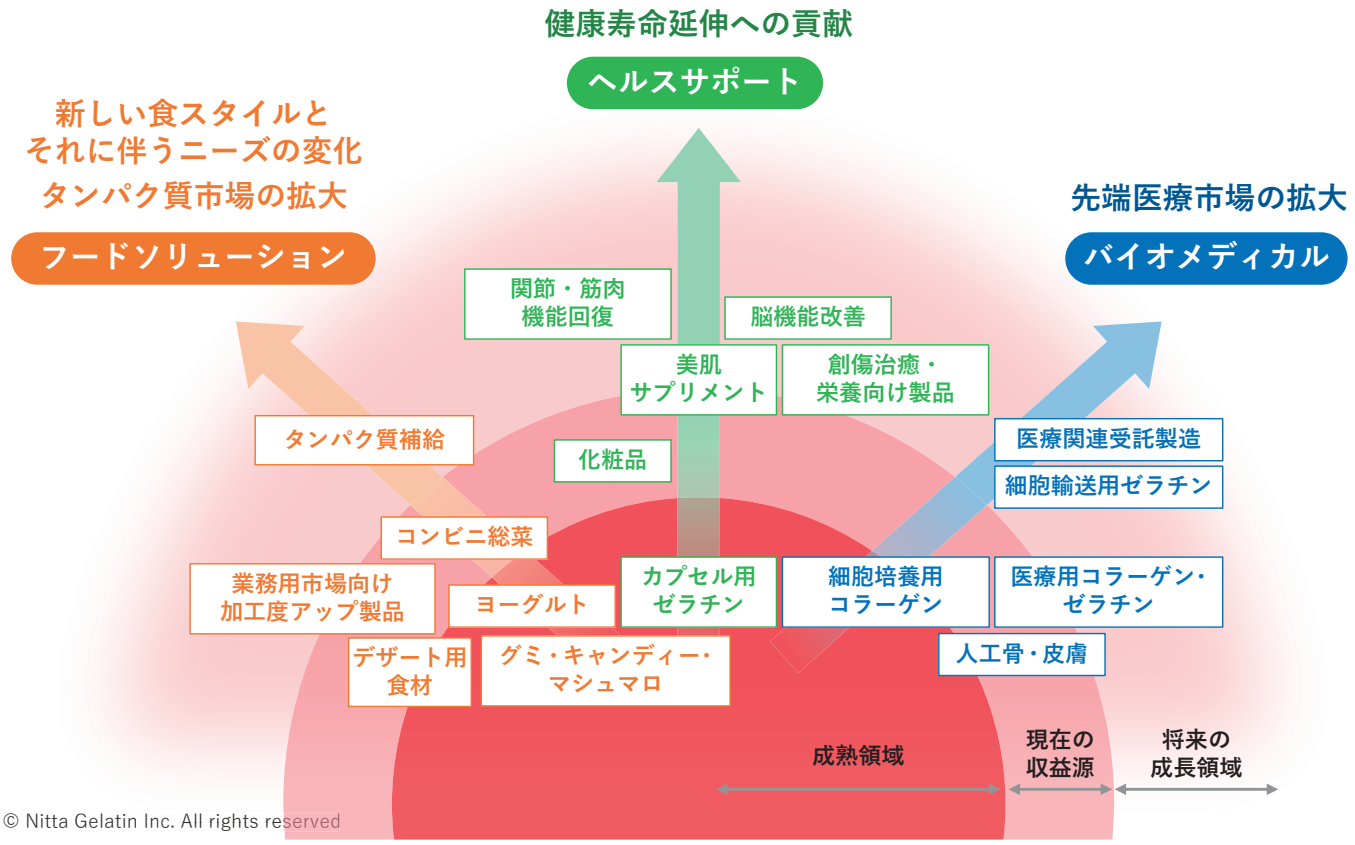
汎用品の価格競争の激化が進む一方、美容・健康・医療分野を中心に
高付加価値領域での市場の拡大が進む

	フードソリューション	ヘルスサポート	バイオメディカル
プラス要因	● 中食需要増加、調理時間の短縮ニーズの高まり ● 食の多様化、健康意識の高まり ● タンパク質摂取の重要性認識の高まり（健康維持、筋肉維持）	● 海外での美容・アンチエイジングニーズの高まり ● フレイル予防ニーズ	● バイオ医薬品の実用化と普及 ● （コラーゲンを用いる）細胞治療の実用化拡大 ● 医療機器(人工骨、人工皮膚など)の海外での承認拡大
プラス要因（共通）	● アジア圏の経済成長に伴いゼラチン需要が拡大		
マイナス要因	● 新型コロナウイルス感染症の拡大による外食産業苦境 ● グミ、カプセルなど汎用品から用途が広がりにくい	● 市場拡大に伴う競争激化	● 市場拡大に伴う競争激化
マイナス要因（共通）	● 汎用品の価格競争激化 ● 中長期の原料調達の不安定化懸念、代替品の可能性		

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

コラーゲン素材の可能性

優れた効果を持つコラーゲン素材のグローバル市場での拡大が見込まれる



© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

当社の現状と今後の対応策

市場環境と当社課題

■ 市場環境

- アジア圏の経済成長に伴う世界的な ゼラチン・コラーゲン需要拡大
- 食・健康・医療分野を中心とした 高付加価値なゼラチン・コラーゲン市場の拡大
- タンパク質摂取需要の高まりに伴う プロテイン市場の拡大
- 汎用品の価格競争激化
- 原料価格の変動、原料調達の不安定化懸念

■ 当社の現状

- 不採算部門からの撤退が完了
- 国内中心に安定した生産体制を実現
- 長年にわたってコラーゲン素材に関する 知見・研究データを蓄積
- 高付加価値品の開発・販売の遅れ
- 製造・販売体制最適化の遅れによる 製品・地域ごとの利益率のバラツキ

当社の対応策

■ 長期視点からの事業計画を策定

- フード、ヘルス、バイオの3領域における 高付加価値分野の育成
- コラーゲンペプチドのグローバル拡販
- 新しい食ニーズの市場開拓
- 直販事業の拡大

■ 事業基盤の強化

- 各拠点で生産革新を推進し、 安定生産・低コスト生産体制の構築と グローバル拡販に対応した増産対応
- 新事業・新製品開発の推進体制の強化
- 挑戦意欲をより評価する従業員の 評価・処遇制度の見直し
- 研修制度の充実による従業員の成長促進

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

10年後のビジョンと中期経営計画

当社が中長期で目指すビジョンを明確化

選択と集中

2021年3月期
売上高 305.5億円
営業利益 13.5億円
営業利益率 4.4%

将来の飛躍に向けた基盤強化

2024年3月期
売上高 335億円
注力市場※の構成比 10%以上
営業利益 20億円
注力市場※の構成比 20%以上

※注力市場
1. 業務用市場
2. 新しい食ニーズ
3. 海外でのコラーゲンペプチド市場
4. 直販事業
5. バイオメディカル事業

コラーゲンペプチドの用途拡大・市場活性化

収益構造改革期

10年後のビジョン

コラーゲンを通じて人々のQOL向上に貢献

売上高 400億円
営業利益 40億円
営業利益率 10.0%
ROE 10.0%

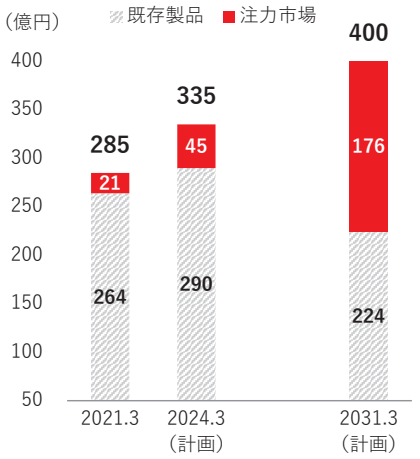
中期経営計画 2019.3-2021.3 → 中期経営計画 2022.3-2024.3 → 2031.3

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

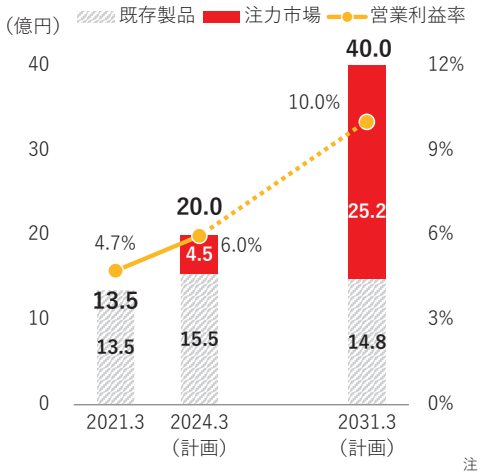
10年後に目指すもの

10年後のビジョン	コラーゲンを通じて人々のQOL向上に貢献
会社の方向性	注力市場にフォーカスし、高収益企業に生まれ変わる
具体的な施策	ゼラチンの汎用品から付加価値の高いコラーゲンペプチドへのシフトを進め、成長性が見込める市場にリソースを集中し、収益性の向上を図る

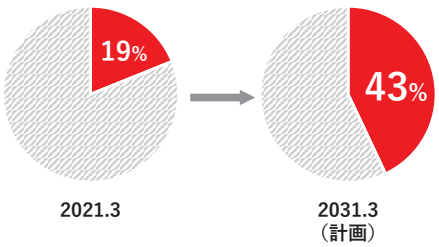
売上高



営業利益・営業利益率



コラーゲンペプチドの売上高比率



注：2021.3は接着剤事業除く計数

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

長期ビジョンを実現する強み

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

長期ビジョンを実現する強み

1. 高シェアによるブランド力
2. 生産一貫体制で安定的かつ低コストで製造
3. 高い技術開発力・豊富なデータの蓄積
4. グローバルな製販体制で多様なニーズに対応

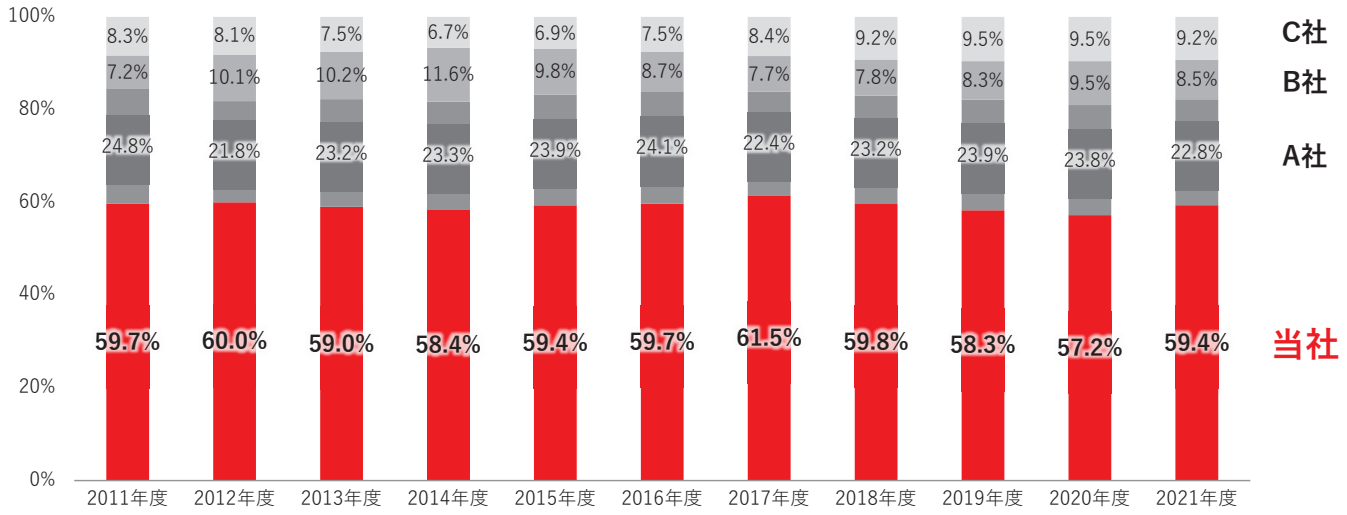
© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

強み① 高シェアによるブランド力

長年にわたって国内シェア圧倒的1位のゼラチンメーカーであり、
業界のリーダーとして認知されている

日本におけるゼラチン販売量（2021年度）

ゼラチンで国内最大手



出典：『日本ゼラチン・コラーゲン工業組合』(2020年度 輸出を除く)
A社：皮革関連、非皮革関連(ゼラチン部門、コラーゲン部門)、その他で事業展開。ゼラチンの一貫生産を取りやめ、国内外の協力工場で委託生産。

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

強み② 生産一貫体制で安定的かつ低コストで製造

生産一貫体制の強みを生かし、タンパク質摂取用途のコラーゲンペプチドを安定的かつ低コストで製造する方法を開発

国内で最大級
原料からの生産一貫体制を構築

原料調達	製造技術の蓄積・改善	グローバル生産管理
高品質かつ 安心・安全な 原料を世界中から調達	安定的かつ低コスト 製造方法を絶えず探求	日本で求められる 高い品質を基準に 各国拠点の品質を管理

顧客ニーズに
応じた高品質な
製品の安定生産

独自の製造方法
を開発

タンパク質摂取用途のコラーゲンペプチドの
独自の製造方法を開発

■ **当社のタンパク質摂取用途のコラーゲンペプチドの製造工程**

原　料 ① → ゼラチン ② → タンパク質摂取用途のコラーゲンペプチド

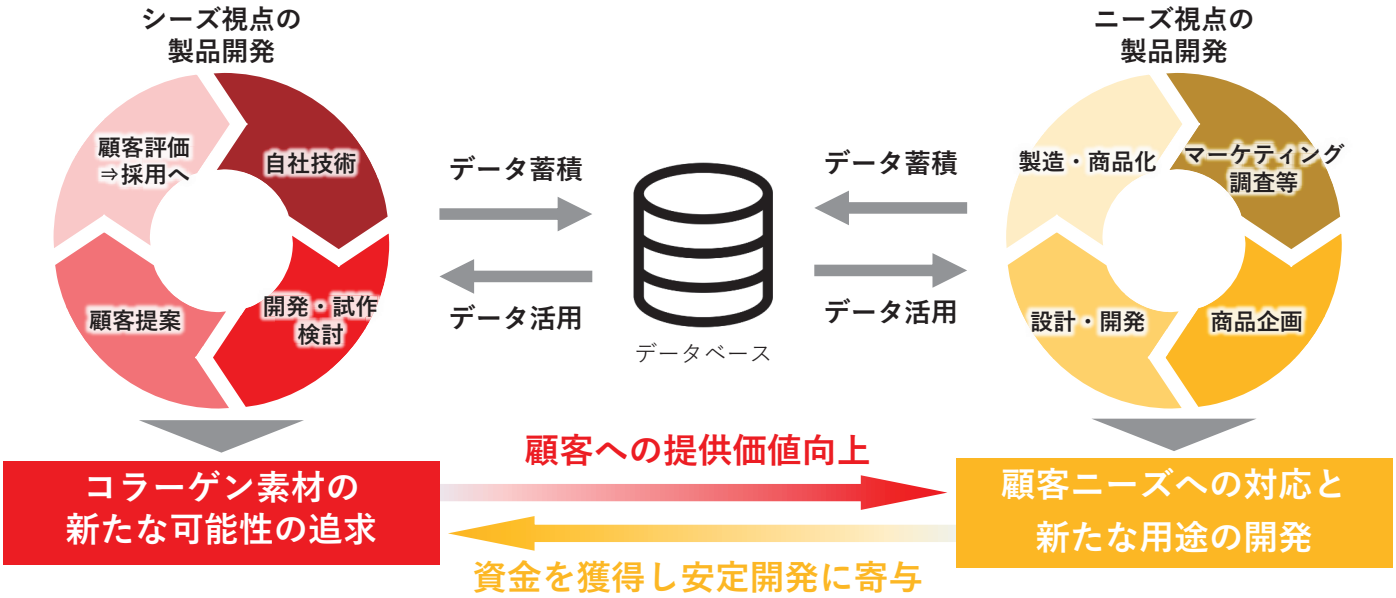
当社独自の技術
で工程を省略

ゼラチンの製造工程を省くため
✓ 製造コストが低い

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

強み③ 高い技術開発力・豊富なデータの蓄積

大学や公的研究機関とのネットワークを活用した研究活動、研究所および用途開発のデータを蓄積・活用することで、コラーゲン素材の可能性を最大限に発揮する製品を開発



2022年3月末時点

自社研究テーマ	14件
共同研究テーマ	15件

具体的なテーマ

1. 食感の解析および制御技術（FS）
2. コラーゲンペプチドのヒトへの生理活性機能（HS）
3. 細胞輸送技術（BM）
4. コラーゲン人工腱（BM）

2022年3月期実績

顧客ニーズ対応件数	215件
自社新規開発案件	84件

FS：フードソリューション　HS：ヘルスサポート
BM：バイオメディカル

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

強み④ グローバルな製販体制で多様なニーズに対応

日本、アジア、北米に製造・販売拠点を置き、
グローバルで高品質な製品を安定的に供給できる体制を構築

販売における強み

- 各拠点で顧客との密なコミュニケーション

地域ごとに異なる顧客ニーズを的確に把握

生産における強み

- 日本で求められる高い基準を基に各拠点の品質を管理

高品質な製品をグローバルで製造

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

（参考）工場ごとの事業内容と対応原料

製造拠点をグローバルに展開し、様々な原料を安定的に調達

	事業内容	対応原料		
		魚	牛	豚
日本	ゼラチン、コラーゲンペプチド、医療用ゼラチン・コラーゲンの製造	●	●	●
インド	ゼラチン、コラーゲンペプチドの製造	●	●	
中国	ゼラチン、コラーゲンペプチド等の製造	●		
米国	ゼラチン、コラーゲンペプチドの製造		●	●
カナダ	ゼラチンの製造			●
ベトナム	ゲル化剤の対応製造	—	—	—

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

成長戦略

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

成長戦略のハイライト

新田ゼラチン Connect and Create

1 フードソリューション
■ 業務用市場への挑戦と新しい食ニーズへの対応

2 ヘルスサポート
■ 海外でのコラーゲンペプチドの販売拡大と直販事業の強化

3 バイオメディカル
■ 医療用コラーゲン・ゼラチンの競争力強化・販売拡大

4 生産体制の強化
■ グローバルでの販売拡大に備えた生産革新と安定生産体制の構築

5 事業基盤の強化
■ 新事業・新製品開発推進体制の強化と人材への施策

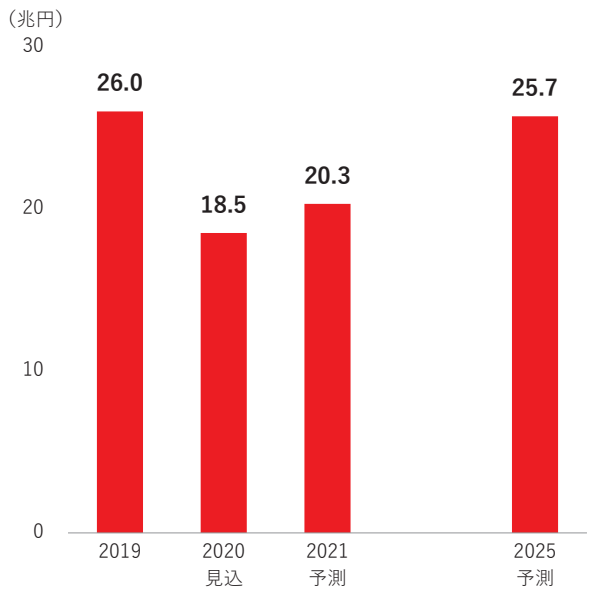
© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

フードソリューションの市場環境

新田ゼラチン Connect and Create

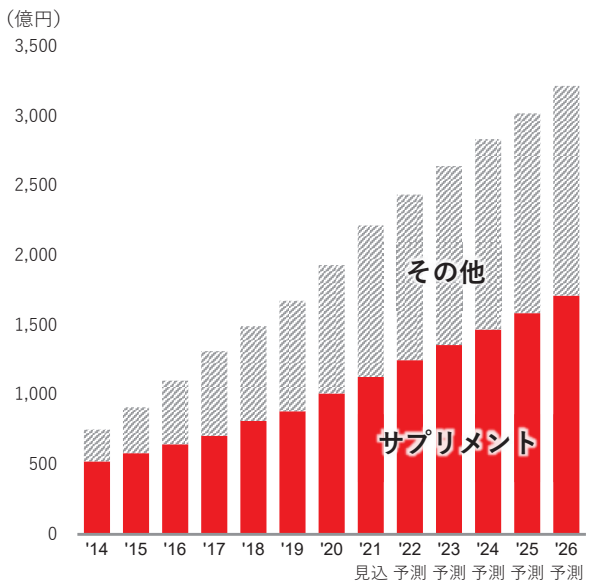
外食産業の国内需要は外出規制により落ち込んだが、足元は回復基調にある。
タンパク質補給食品市場は健康増進需要を追い風に今後も成長が見込まれる

外食産業国内需要推移



出典：みずほフィナンシャルグループ Oneシンクタンクレポート No.22「内外経済・日本産業の中期見通し」

タンパク質補給食品市場規模推移

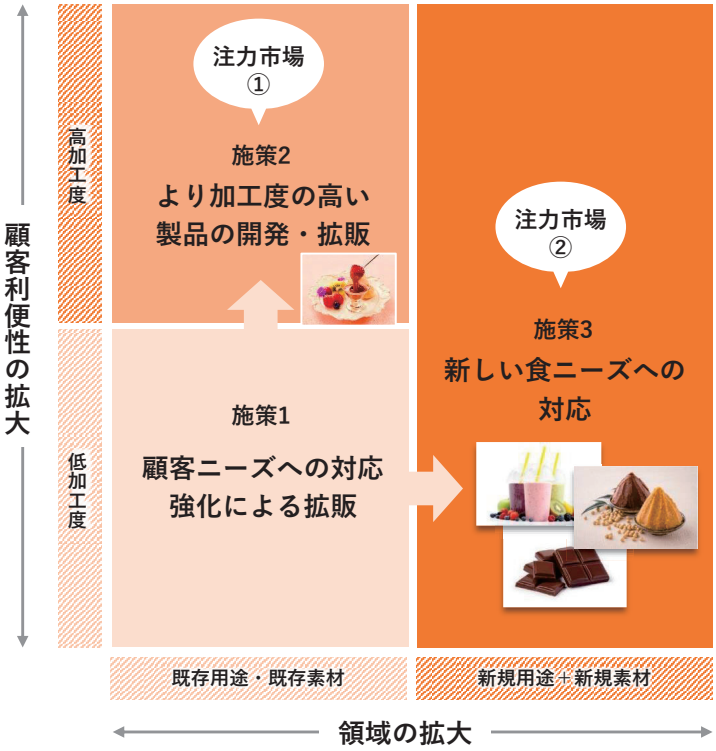


出典：富士経済「プロテインブームによる商品開発競争とチャネル間競合が進むたんぱく補給食品市場 2021」

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

フードソリューションの戦略

開拓余地の大きい業務用市場で拡販
食ニーズの大きな変化を見据えタンパク質摂取用途のコラーゲンペプチドで新市場を創出



【フードソリューションにおける当社の強み】
- お客様のあらゆる要望に対応可能な製品開発力
- 生産一貫体制によるコスト競争力
- 国内有名シェフとのネットワーク

施策1
顧客ニーズへの対応強化による拡販
- きめ細かな顧客要望対応と提案活動を通した潜在ニーズの発掘

施策2
より加工度の高い製品の開発・拡販
- 外食産業等の業務用向け顧客利便性向上に貢献する製品の開発と拡販
- シェフとのネットワークの活用やECサイトの開設による新たな潜在顧客の発掘

施策3
新しい食ニーズへの対応
- 溶解性に優れるタンパク質摂取用途のコラーゲンペプチドや植物性素材を使った新製品開発と提案

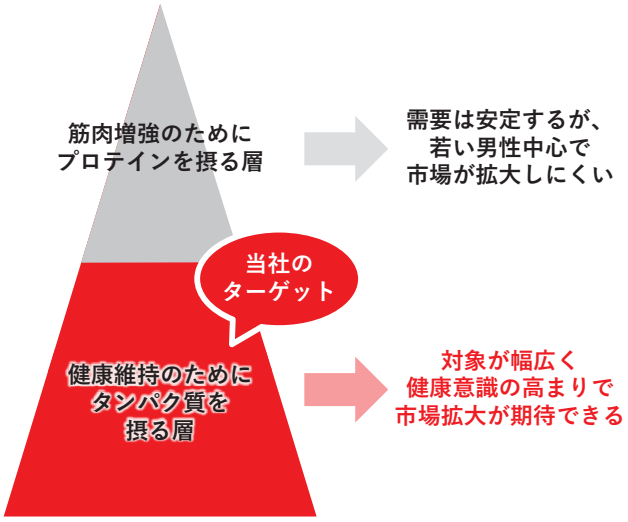
© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

フードソリューションの新しい試み

健康志向の高まりに対応し、当社の製品開発力、生産一貫体制の強みを活かして
タンパク質摂取用途のコラーゲンペプチドの拡販を目指す

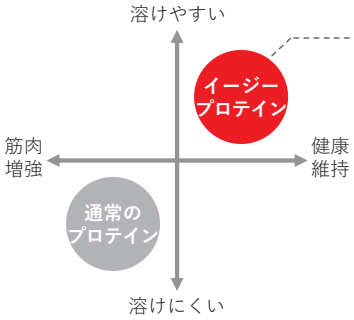
■ 当社のタンパク質摂取用途のコラーゲンペプチドのターゲット

既に市場が確立している筋肉増強を目的とするプロテイン市場ではなく、健康志向で今後の需要拡大が期待できる市場が対象



■ 新商品“イージープロテイン”の特徴

イージープロテインと通常のプロテインの違い



イージープロテインとは？
牛由来のコラーゲンを加水分解し低分子化したもので、他のタンパク質原料と比較して
低粘度で**溶解性**に優れている

素材の味を生かしたまま、効率的にタンパク質の摂取が可能

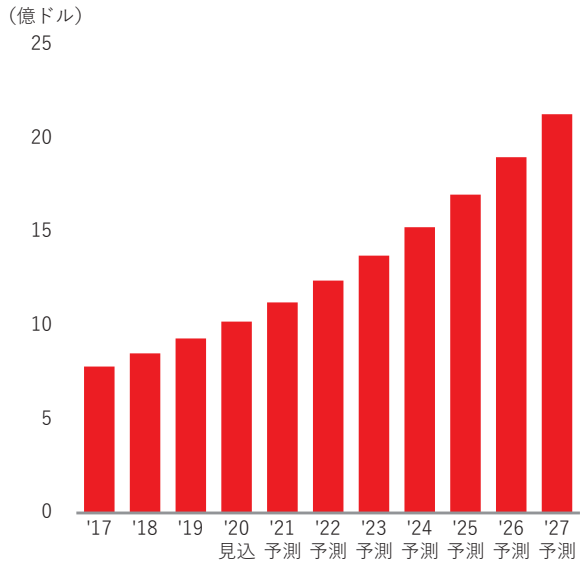
想定される様々なアプリケーション事例

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

ヘルスサポートの市場環境

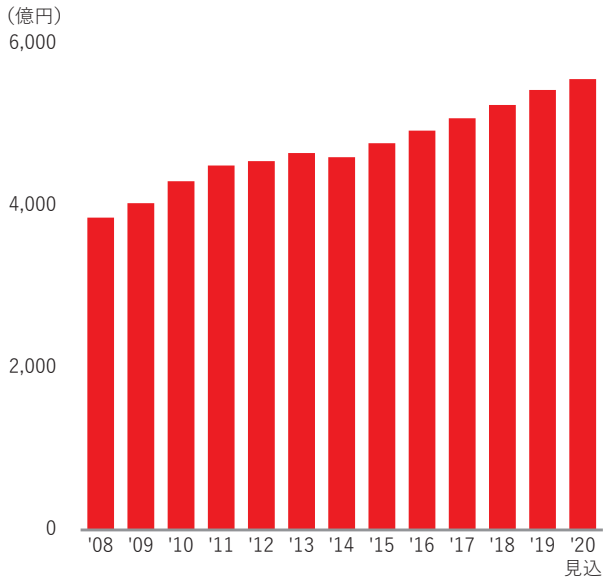
世界のコラーゲンペプチド市場は機能性に関する認知度向上を背景に拡大が見込まれる。
国内の通信販売健康食品市場は緩やかに拡大している

世界のコラーゲンペプチド市場推移



出典：The Insight Partners「Global Collagen Peptide Market to 2027」

通信販売健康食品の市場規模推移

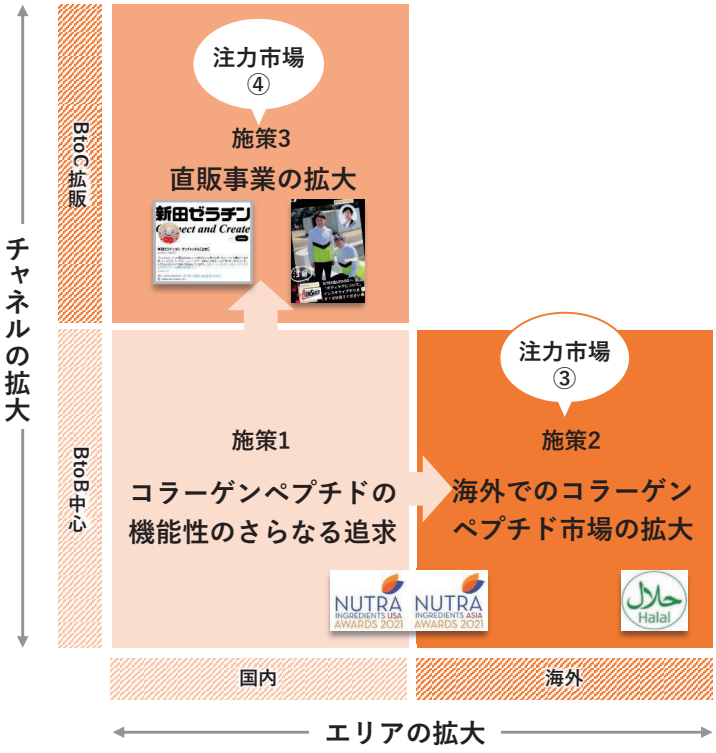


出典：TPCマーケティングリサーチ「2020年 健康食品の通販事業戦略調査」

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

ヘルスサポートの戦略

品質（信頼性）を武器に海外でのプレゼンスを着実に高めていく。
直販事業の本格的参入に向けた準備を進める



【ヘルスサポートにおける当社の強み】
- 長年の研究・知見を背景としたコラーゲンペプチドを活用した製品開発力
- トップメーカーとしての信頼性
- 幅広い市場をカバーするインド拠点

施策1
コラーゲンペプチドの機能性のさらなる追求
- 美容以外の新市場の創出

施策2
海外でのコラーゲンペプチド市場の拡大
- アジアにおいて、代理店と緊密に連携し、当社コラーゲンブランドである“Wellnex”ブランドの浸透
- ハラル認証されたインド拠点で製造するコラーゲンのグローバル販売展開

施策3
直販事業の拡大
- 新しい顧客層の開拓を目的としたリブランディング
- 効果的な広告宣伝費の投入による、商品認知度の向上と拡販
- 積極的な広報活動による、コラーゲンペプチドの高い健康維持効果の認知向上

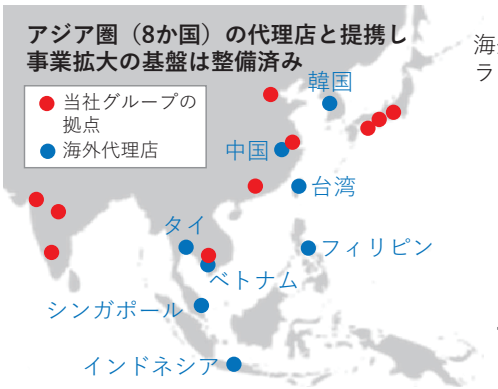
© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

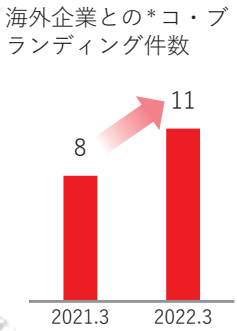
ヘルスサポートのグローバルな展開の加速化

今後も急成長が見込まれるコラーゲンペプチド市場に対して、
アジアにおける当社ブランドの強みを生かして拡販する

■ アジアにおけるコラーゲンペプチドブランド “Wellnex”の浸透

- 海外代理店と連携し、日本におけるコラーゲントップメーカーとしての信頼性を最大限に活用





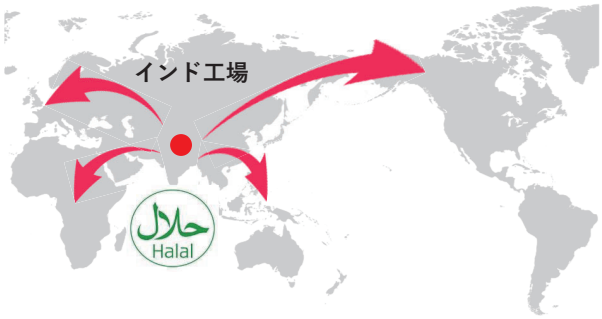
「Wellnex」海外受賞歴

NUTRA INGREDIENTS USA AWARDS 2021
NUTRA INGREDIENTS ASIA AWARDS 2021

＊コ・ブランディングとは、海外小売り企業がパッケージに「Wellnex」ロゴを表示してブランドを強調して販売すること

■ ハラル認証されたコラーゲンペプチドのグローバル販売展開

- 海外の代理店と連携
- インド拠点からアジア・北米に加えて、成長市場であるインド・中東・アフリカへ供給

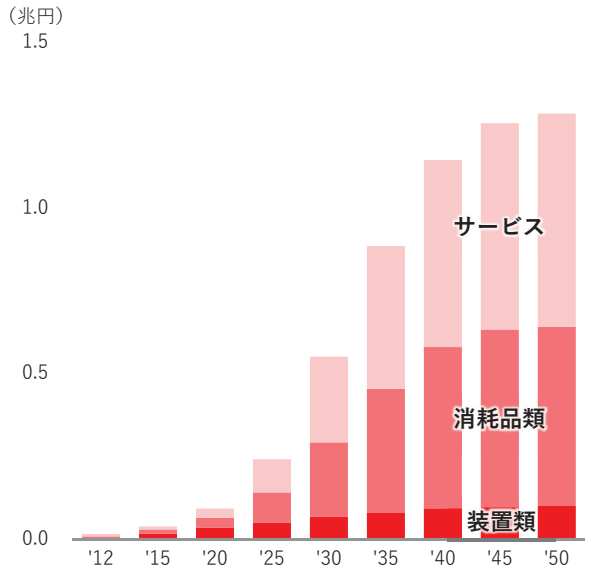


© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

バイオメディカルの市場環境

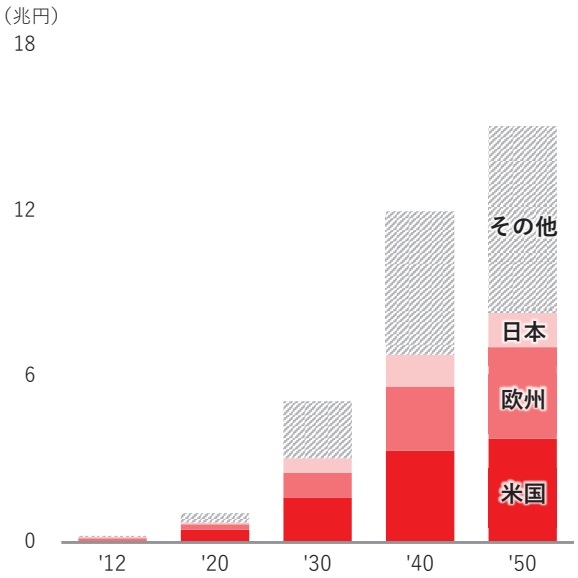
再生医療の産業化はまだ緒に就いたばかりであり、今後さらなる市場拡大が見込まれる

再生医療周辺産業の市場規模成長予測（日本）



出典：経済産業省「再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業複数課題プログラムの概要」

再生医療周辺産業の市場規模成長予測（世界）

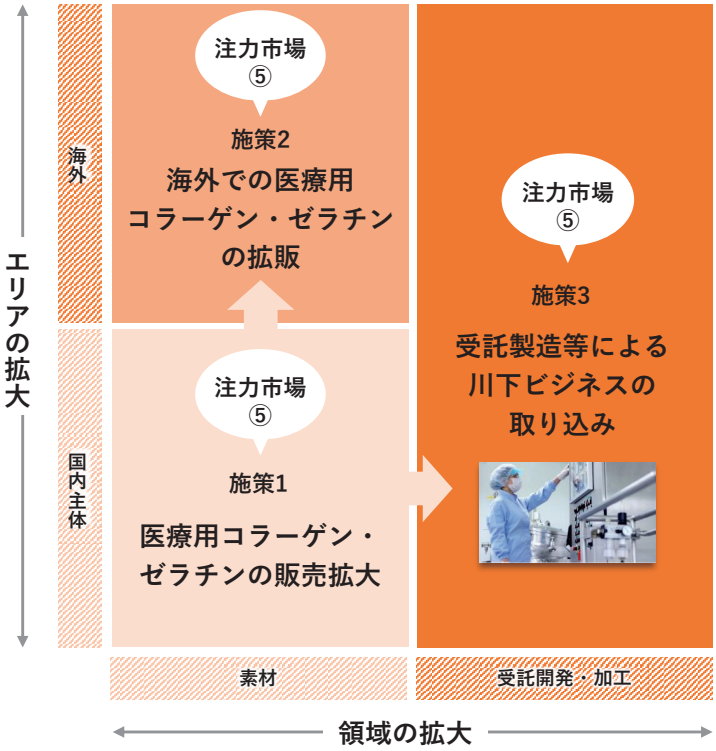


出典：経済産業省「再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業複数課題プログラムの概要」

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

バイオメディカルの戦略

バイオメディカル分野での原材料メーカーとしての地位を盤石にし
受託製造による川下ビジネス等、新たな収益源の獲得を目指す



【バイオメディカルにおける当社の強み】
- 国内トップメーカーとしての安全に関する信頼性
- 長年のコラーゲン・ゼラチン研究による知見の蓄積と専門家ネットワーク

施策1
医療用コラーゲン・ゼラチンの販売拡大
- 多様なニーズへの対応（用途拡大）

施策2
海外での医療用コラーゲン・ゼラチンの拡販
- 海外グループ会社との連携
- Webマーケティング強化による海外における当社の認知度向上

施策3
受託製造等による川下ビジネスの取り込み
- 医療関連製品の受託製造

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

バイオメディカルの成長の加速

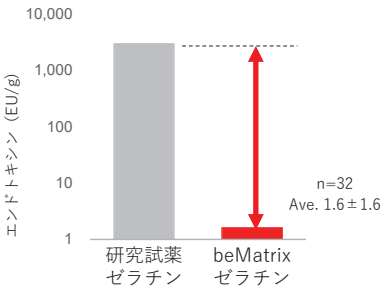
当社コラーゲン・ゼラチンの高い安全性を活かし、
みらい館の竣工を機に医療における更なる利用拡大を加速させる

■ 生体組織工学用コラーゲンゼラチン"beMatrix"

- **独自の手法により、エンドトキシン＊　を低減し、高い安全性を実現**

＊量が増えると炎症反応を起こしてしまうため、医療用途では低減化が必須

研究試薬ゼラチンとのエンドトキシンレベルの比較



医療で使用されている事例
ドラッグデリバリーシステム（薬剤除法）※

※ドラッグデリバリーシステム（薬剤徐放）
薬剤が体内で溶ける時間を調整し、一度の投与で特定の場所において長時間、薬の効果を持続させるシステム。
コラーゲン・ゼラチンは生体親和性や生体吸着性を利用して薬物を包むことで患部に届け、治療効果を高めることが可能。

■ バイオメディカルにおけるみらい館（新研究棟）の位置づけ

- 全研究・開発機能を集約
- 医療レベルの高度な品質管理での製造
- 研究者の見学受け入れ等の情報発信基地

**素材販売ビジネスから
医療機器受託製造等の
川下ビジネスへの展開も視野に**

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

生産体制の強化

新田ゼラチン Connect and Create

コラーゲンペプチドの増産を含め、今後10年間で220億円の設備投資を実施予定

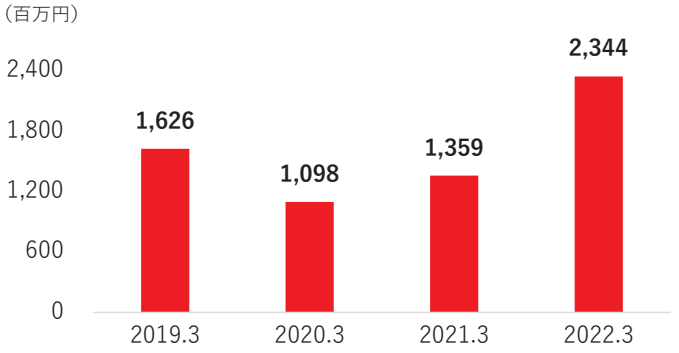
安定生産・低コスト生産体制の強化

- グローバルベースでの安定生産
- 新しい原料の開拓や工場自動化等、生産効率化によるコストダウン
- AI活用による業務効率化と省人化
- 環境改善への取り組み強化

■ 設備投資額と具体的な内容

	金額	内容
新規投資	75億円	■ タンパク質摂取用途のコラーゲンペプチド生産 ■ みらい館建設 ■ コラーゲンペプチド増産
既存設備更新	145億円	■ 大阪工場再編 ■ その他

設備投資額の実績



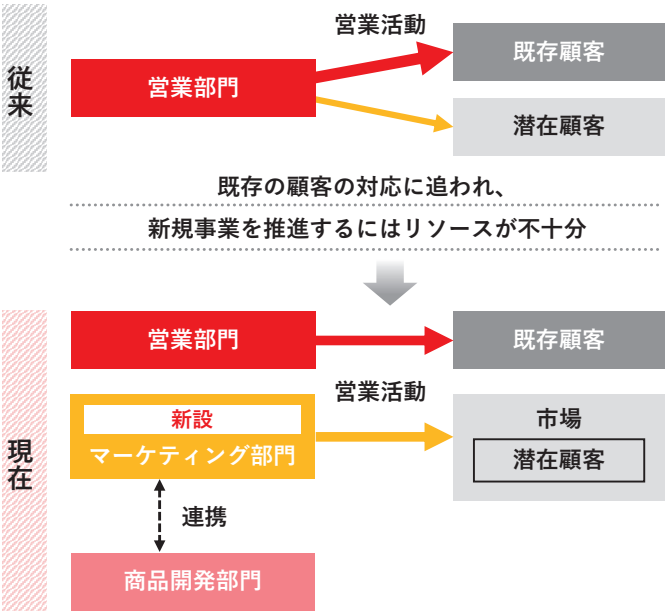
© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

事業基盤の強化

新田ゼラチン Connect and Create

新事業・新製品開発の推進体制を強化をすると共に、従業員が活躍できる基盤を整備

■ 新規事業・新製品開発の推進体制の強化



マーケティング部門を新設し、市場のニーズを反映するために商品開発プロセスから転換

■ 人材に対する施策

従業員の評価・処遇制度の見直し

- 挑戦や成果に報いる人事制度への改定
- 透明性、納得性の高い評価制度導入

人材育成の強化

- 経営を担える人材の育成
- 研修制度の充実による、若手・中堅社員の育成と本人が希望するキャリア形成の支援

働き方改革と女性活躍の一層の推進

- フレックスタイム、テレワーク制度による柔軟な働き方の推進
- 女性が活躍しやすい職場環境の創出（出産・育児休業の取得推進等）

えるぼし認定マーク（2つ星）
（2022年3月取得）

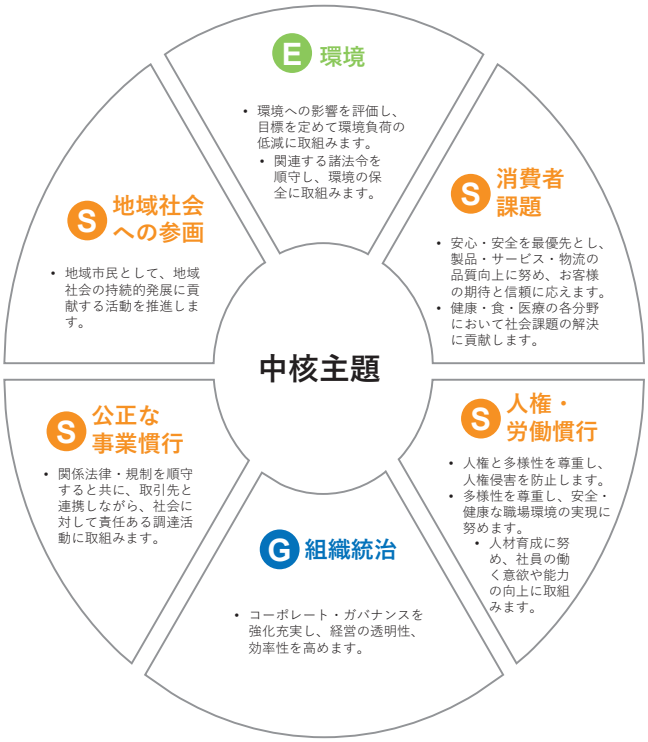
従業員が働き甲斐を実感し、共通の目標に向かって挑戦する風土を醸成

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

サステナビリティ

持続可能な環境や社会の実現に向け、サステナビリティ方針を制定するとともに、
当社の社是、固有のビジネスモデルを勘案し、重点的に取り組むべき活動を選択し推進

サステナビリティ方針と重点活動



重点活動

	取組み内容	関連SDGs
環境改善への取組み	• CO2排出量削減 • 水使用量の削減 • 副産物による環境改善	12 13 14 15
地域社会との共生と貢献	• 地域清掃、グランド解放 • 工場見学 • 各種スポーツ支援	3 4
社会の課題解決に向けて	• 高齢化社会での課題解決 • 人々の健康維持・増進 • 食における課題解決 • 医療分野での課題解決	2 3
より良い職場の実現と人材育成	• ダイバーシティ推進 • 労働安全衛生 • 従業員の健康管理支援 • 人材育成 • ワークライフバランスの推進	5 8

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

ご覧いただきありがとうございました

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

Appendix

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

注力市場① より加工度の高い製品の開発・拡販

より加工度の高い製品の開発と拡販により、顧客利便性を向上

■ もちのびドルチェ

- 絞って盛り付けるだけの手軽な調理で
  見栄えや食感など、特徴的な本格的なデザートが完成
- 驚きの演出ができるためSNSへの写真投稿を誘発

主なターゲット

ホテル

外食チェーン

ホテル、外食チェーンの課題

- 人手不足のため、調理時間を短縮したい
- コロナ禍で顧客が減少しているため、
  特徴的なメニューで集客したい

**より加工度の高い製品が受け入れられる
素地が揃っている**

**シェフとのネットワークの活用や
ECサイトの開設により
新たな潜在顧客の発掘を目指す**

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

注力市場② フードソリューションの新しい試み

新田ゼラチン Connect and Create

健康志向の高まりに対応し、当社の製品開発力、一貫体制の強みを活かして
タンパク質摂取用途のコラーゲンペプチドの拡販を目指す

■ タンパク質の種類と用途

タンパク質摂取ニーズは高まっているものの、バランスをとることは難しい

タンパク質の摂取方法

動物性主体の食事
- ○ アミノ酸の**吸収効率が高い**
- × **脂肪も摂取**してしまう

植物性主体の食事
- × アミノ酸の**吸収効率が低い**ため、食事量が増える
- ○ **脂肪が少ない**

「動物性」と「植物性」をバランスよく摂取することが重要

動物性タンパク質であるコラーゲンから当社の高い製造技術を活かしてプロテインに加工

■ 新商品“イージープロテインBBP”の専用サイト

https://easyprotein.nitta-gelatin.co.jp/

製品名	イージープロテインBBP（Bovine Bone Powder）
用　途	タンパク質補給食品専用のタンパク質原料
特　長	✓ **低粘度で溶解性に優れており、配合量を増やしても風味を損なうことのないタンパク質補給食品に最適な素材です。** ✓ **国内工場で全て製品化。スピーディかつタイムリーな供給体制で、安定供給を実現。** ✓ **各種食品へのレシピ開発や試作品作製などをご提案する専門技術者を“アプリケーションラボ”に配置。高タンパク質商品の企画・開発を技術面からもサポートします。**

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

注力市場③ 海外でのコラーゲンペプチド市場の拡大

新田ゼラチン Connect and Create

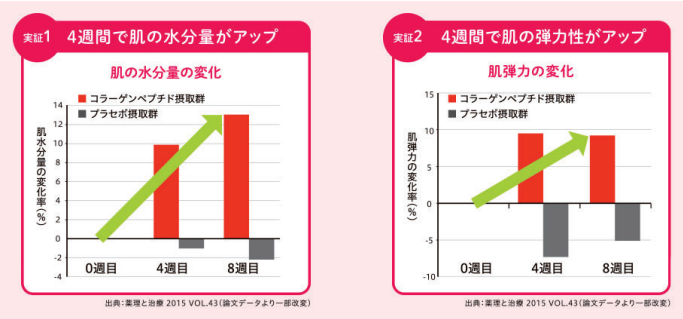
国内で一定の地位を確立し、アジアでも知名度が高まる「Wellnex」ブランドを
最大限に活用し、アジア・北米を中心に海外でコラーゲンペプチドを拡販

Wellnex（ウェルネックス）®

Wellnexは、新田ゼラチンが開発した
コラーゲンペプチドのブランド名です。

- **安心・安全** 管理された原料のみを使用
- **高機能性** 豊富なエビデンス取得
- **高品質** Wクリア製法

「Wellnex」の効果



製品展開例

Wellnex 肌。
（ウェルネックス はだまる）
機能性表示食品で肌の水分量と弾力の低下を緩和する。

「Wellnex」ブランド展開の実績

2012	高機能コラーゲンペプチドブランドとして「Wellnex」を展開
2020	北米で高機能コラーゲンペプチドのブランド力強化のため「Replenwell」を展開
2021	アジアで高機能コラーゲンペプチドのブランド力強化のため「Wellnex Dipeptide」を展開

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

注力市場④ 直販事業の拡大

新田ゼラチン Connect and Create

認知度向上と機能性の訴求により直販事業の拡大を図る

■ 認知度向上と拡販の施策

- **効果的な広告宣伝費の投入による商品認知度の向上**
  - ➢ 広告宣伝費の投入によりコラーゲン特設サイトへ誘客
  - ➢ “RUNSHOT”サポーターの活用により運動への高い効果を訴求

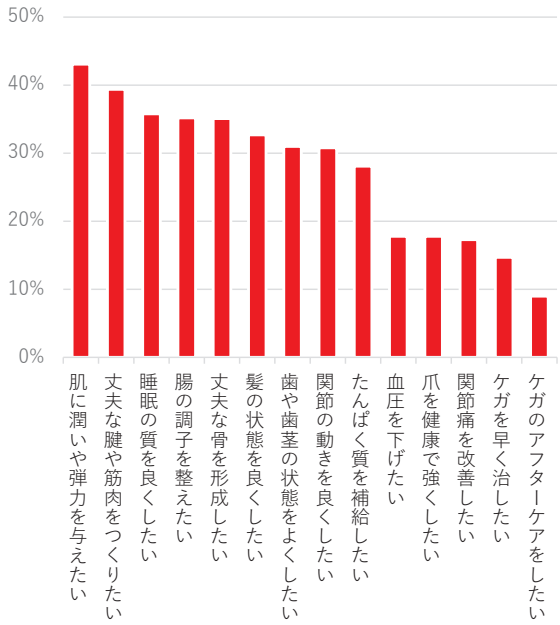
- **積極的な広報活動により、コラーゲンペプチドの効果を伝えていく**

既存顧客のリピート率
77%
（2022年3月期）

- **新規顧客獲得に向けたリブランディング**
  - ➢ 健康食品を３シリーズ（健康・美容・スポーツ）に再編し、商品名称とパッケージを刷新

■ コラーゲン摂取拡大の可能性

コラーゲン摂取の目的を問うアンケート結果では、美容以外の用途でコラーゲンを取得する潜在ニーズが存在



2022年４月当社調査

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

注力市場⑤ バイオメディカル分野での使用促進

新田ゼラチン Connect and Create

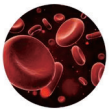
コラーゲン・ゼラチンの医療に適した様々な機能を組み合わせて、
医療における課題を解決

コラーゲン・ゼラチンの優れた特性

医療での使用事例

ドラッグデリバリーシステム（薬剤徐放）
薬の効果を持続させ、副作用を軽減

細胞治療
細胞への親和性を活かした利用が進む



生体接着剤・止血剤・塞栓剤
効率よく組織をつなぎ合わせる

細胞培養コラーゲン
iPS細胞や幹細胞由来のヒト細胞を安定的に培養

人工骨・人工皮膚
効率よく骨や皮膚を再生

バイオ医薬品
保存や投与時の課題解決

© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved

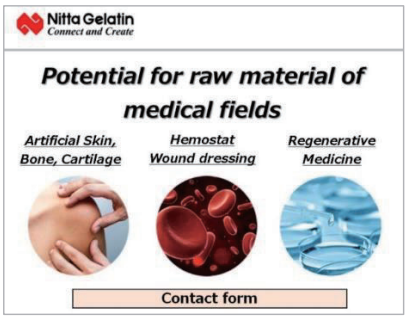
注力市場⑤ 認知度向上と川下ビジネスの取り込み

新田ゼラチン Connect and Create

海外における当社の認知向上による利用拡大及び川下ビジネスへの展開を展望

■ Webマーケティング強化による海外における当社の認知度向上

- **海外向け当社医療用専用サイトによる情報発信**



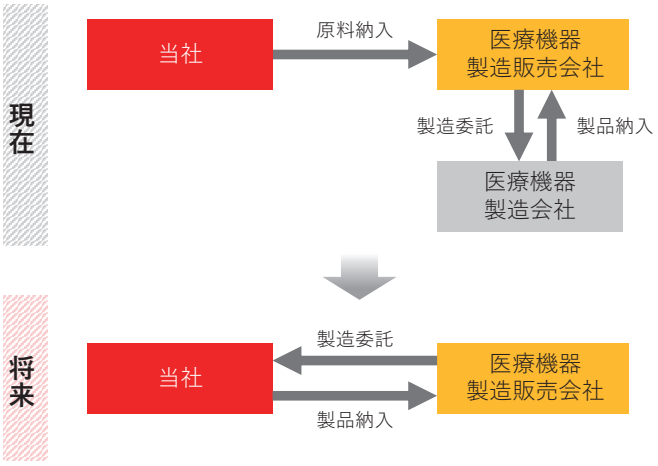
海外向け当社医療用専用サイト

- ➢ 海外販売子会社との連携によるPR活動
- ➢ 海外での展示会への積極的な参加

■ 医療関連製品の受託製造による川下ビジネスの取り込み

- **素材販売から受託製造等の川下ビジネスの取り組みをしていく方針**
- **コラーゲン・ゼラチンメーカーとしての強みを活かす**

医療製造委託のイメージ



© Nitta Gelatin Inc. All rights reserved